

### 第36回

## 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

今回の「氾濫」のお題は「多重王手」です。「多重王手」は複数の駒で同時に王手を掛けること。平たく言えば「両王手」なのですが、フェアリーでは3枚以上の駒が同時に王手を掛けることがあるので、一般化して「多重王手」と呼びます。

(ルール説明)

【マドラシ】同種の敵駒が互いの利きに入ると、利きがなくなる。成駒と生駒は別種の駒として区別する。

【安南】味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【対面】敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる。

【取禁】詰手順中に駒を取る手があったらならない。

(補足)「取禁」でも「王手」や「詰み」の概念は通常通り。駒が取れないことを前提とした詰みを求めるのではなく、駒取りがない詰手順を求めるルールです。

【フェアリーでの両王手の例】

フェアリーでは通常ではあり得ない駒の組み合わせで両王手が掛かることもあります。実例として神無太郎氏の作品をご覧ください。

神無太郎作 安南ばか詰 7手『必至』  
(1991年2月、フェアリーランド)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

持駒 なし

58 飛、56 角、同飛、45 玉、37 角、  
35 玉、55 角迄 7手

詰上りは角と歩による両王手。一見逃げられそうですが、玉も角も飛の性能なので詰んでいます。

今回の出題作はすべて多重王手を含みます。さて、どんな多重王手が見られるでしょうか？

(今回の出題作について)

②と⑥は非標準駒数作品です。  
②は使用駒数が拡張されています。盤上の3枚の角に加え、受方の持駒は無制限、つまり飛角金銀桂香歩を何枚でも使える設定です。⑥は逆に駒数が制限されています。盤上の駒と攻方の持駒だけで白玉を詰めてください。

### 懸賞問題

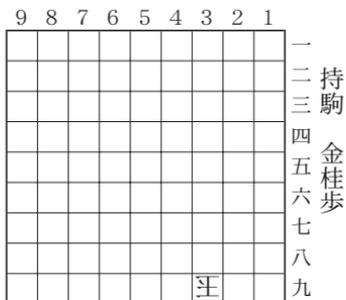
▼締切6月末日。呈賞5名。解答は編集部または左記のアドレスへ

E-mail: janacek789@ybb.ne.jp

▼評価点不要。短評歓迎。1題の正解でも呈賞の対象となるので解けた分だけでも解答を送って下さい。

④ 神無太郎

安南ばか詰 11手



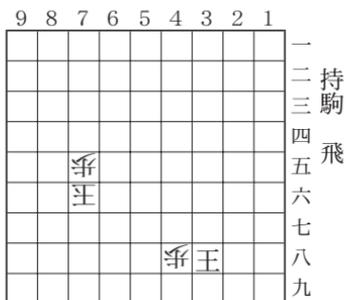
① 神無三郎「野遊び」

ばか詰 89手



⑤ 神無太郎

安南ばか自殺詰 10手



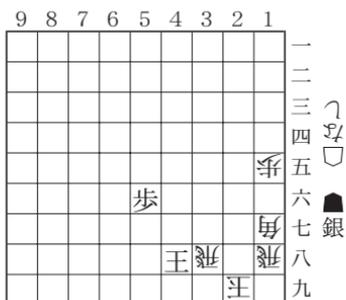
② 神無太郎

マドラシばか詰 5手



⑥ 神無七郎

対面取禁ばか自殺詰 62手



③ 変寝夢

安南ばか詰 5手

